

*コンプレインは競技委員長に仮発表後1時間（最終日は10分）以内に提出する。
抗議は競技委員長に仮発表あるいはコンプレインに対する回答後1時間（最終日は10分）以内に文章で供託金5000円と共に提出する。

*テイクオフ方法

オーダーローンチ

優先順位

国内選手は昨年のPJLランキング（オープンクラス）1～30位までの選手はそのランキング順。それ以外の選手は、初日受付時にくじ引きとする。

*リフライトは1回だけ許される。車はメインランディングから出発する。

*タスク成立のためのゲートオープン時間は、そのタスク参加意思表示した選手数×1分とする。

*テイクオフでの風速が7m/sを超えるとゲートはクローズする。

*3DGPS必携（GPSDump480で読めるもの）。

*マップデーターはWGS84とし、度分秒で表示する。

*ペナルティ

- ・飛行禁止空域（3次元）：飛行禁止空域に入った場合、そのタスクゼロ点とする。2タスク以上での違反は大会失格とする。違反の判断はGPSのログによって行う。飛行禁止空域は地図上にマークされ、座標は提供される。

- ・電線接触：最初の電線接触はタスクゼロ点とし、2回目の接触で大会失格とする。電線接触したことを報告しないあるいは虚偽の報告をした選手は大会失格とする。

- ・雲中飛行：雲中飛行していると証明された選手はそのタスクゼロ点とする。

- ・アウトランディング：指定されたランディングあるいは緊急ランディング（揖斐川および根尾川の河川敷内（川側の法面までとし道路は含まない））以外にランディングした選手にはそのタスク得点の10%を減点する。

- ・報告：やむを得ない場合を除き、ランディング後速やかにランディング報告、あるいは決められた帰着申告時間までに本部に帰着申告をしてタスクレポートを提出しなかった選手はそのタスクゼロ点とする。

- ・旋回方向：テイクオフからスタートまで、あるいは当日のブリーフィングで決定された範囲において、奇数日は左、偶数日は右に旋回するものとする。旋回違反に対しては警告を発する。警告に従わない選手は、そのタスクゼロ点とする。